



# 館報 まつかわ

松川町公民館報  
第688号  
令和3年3月15日

町の川 ㊥ 祢宜屋井（新井北部）



# 伊那坂東 三十三番 札所巡り

昨年11月に中川村公民館から、松川、高森、豊丘、大鹿、中川にまたがる地域に「伊那坂東三十三番札所」が存在しており、共にこの存在と文化を学び札所巡りにつなげる活

- ① 瑞応寺★ 2.4km
- ② 実相院 3.7km
- ③ 実際寺 2.4km
- ④ 浄蓮寺★ 1.9km
- ⑤ 常泉寺★ 0.6km
- ⑥ 観音堂 0.6km
- ⑦ 東福寺 3.8km
- ⑧ 妙福寺(跡) 1.2km
- ⑨ 観音堂 16.4km
- ⑩ 福泉寺(跡) 4.0km
- ⑪ 観瀾庵 11.7km
- ⑫ 三十三所堂(跡) 0.8km
- ⑬ 塩泉院 3.6km
- ⑭ 宝久寺(跡) 6.2km
- ⑮ 観音堂 1.4km
- ⑯ 福聚庵 2.3km
- ⑰ 観音堂(円通殿) 1.3km

- ⑱ 香林寺(跡) 10.9km
- ⑲ 中尾茶屋堂 4.6km
- ⑳ 宗久寺(跡) 0.3km
- ㉑ 福德寺 4.0km
- ㉒ 観音堂(大竜寺跡) 6.1km
- ㉓ 三十三所堂 0.7km
- ㉔ 福寿院(下青木薬師堂) 2.7km
- ㉕ 妙清庵 18.2km
- ㉖ 大慈庵 3.3km
- ㉗ 金剛庵 2.2km
- ㉘ 観寿庵(跡) 3.1km
- ㉙ 嶺岳寺★ 0.7km
- ㉚ 円満坊(応安寺) 1.9km
- ㉛ 道智庵 1.8km
- ㉜ 泉龍院★ 4.3km
- ㉝ 領法寺★

㉞～㉟ 7.7km  
総距離136.8km  
★は住職在住寺



伊那坂東三十三霊場の巡礼コースは、安永年中(1772～1778年)片桐村(現中川村片桐)の住民からの発願により、関係する村々の有志や寺院の僧侶が集まり相談の結果、天明元年(1781年)に上伊那の南部地区と下伊

那の北部地区を加えた山村一帯の地域に「伊那坂東三十三番札所」が設定され、全コースの寺院が統一され御開帳がされたのが文化十年(1813年)であったと記録されています。

松川町の札所、八カ所を紹介します。

一番札所 瑞応寺

上片桐(城)

本尊 千手観世音菩薩

二番札所 実相院

上片桐(鶴部)

本尊 薬師如来坐像

二六番札所 大慈庵

生田(峠)

本尊 馬頭観世音菩薩

二七番札所 金剛庵

生田(中山)



# 伊那坂東三十三番札所巡りMAP

与田切溪谷

烏帽子ヶ岳  
▲ 2195

飯島町

公民館として、今後まずは松川町内の番所を巡る機会を企画していきたいと考えています。



吉田山  
▲ 1450

高森町

大島山  
▲ 941

動の提案がありました。  
5町村の公民館が活動に賛同し、毎月1回の定例会で番所を訪れながら学習を進めています。  
そこでこの三十三札所はどの様なものだったのか紹介します。

所在町村  
松川町 八カ所  
中川村 九カ所  
大鹿村 一四カ所  
豊丘村 一カ所  
高森町 一カ所



本尊 聖観世音菩薩  
二八番札所 観寿庵  
生田 (部奈)  
今は跡地に石像を残す  
二九番札所 嶺岳寺  
生田 (福与)  
本尊 地藏菩薩  
三十番札所 円満坊  
(応安寺) 生田 (福与)  
本尊 十一面観世音菩薩  
三十一番札所 道智庵  
生田 (福与間沢)  
本尊 薬師瑠璃光如来  
すべての札所には御詠歌があります。(御詠歌とは、僧侶でない一般の信者が寺院や霊場巡礼の際に唄える歌の事です)  
全行程を四泊五日か、鹿塩の湯などでゆっくり疲れをとる五泊六日の巡礼の旅であつたようです。  
この様に巡礼習慣は中世の後期以来次第に盛んになり、全国各地に小規模の巡礼地が設置されこの「伊那坂東三十三番札所」もそのような全国的情勢の波に乗って設定されたものと言われています。

参考資料  
(伊那坂東三十三番札所書物)



# もうすぐ桜の時期です お気に入りの桜を探しに出かけてみませんか!

松川町は  
桜が多い  
町です

## 【円通庵】枝垂れ桜

樹齢400年あまりの古木です。伊奈街道大島宿を見守り今日まで歴史と共に愛されてきた桜です。町の天然記念物でもあります。



## 【桜山不動尊】

ソメイヨシノ  
枝垂れ桜



## 【むらやま公園】八重桜

植えられてから3年と若木ですが片桐橋～公園まで堤防添いに80本ちかく植えられています。



## 【北小学校】【町営グラウンド】ソメイヨシノ

北小の桜は昭和20年代に記念樹で植えられた桜、木の下に入れば桜が空から降ってくるようです。



## 【信州航空電子沿い】ソメイヨシノ



## 【林叟禅院】

エドヒガン桜

寺の墓地に咲く桜で国道153号線から見上げると空に向かって伸びる姿は見事です。



## 【原田の桜】

エドヒガン桜

樹齢600～700年と推定される古木です。幹の中央部は朽ちていますが生命力を感じる町内で最も大きい桜で、木元には石仏も祀られ歴史を感じます。



## 【瑞応寺】枝垂れ桜

風格ある寺の鐘楼わきに立ち樹齢はまだ若いですがしだれて咲く姿は見ごたえを感じます。



## 【七楯神社】ソメイヨシノ

鳥居の両脇に参拝者を迎えるのかのように咲く桜に魅了されます。



## 【片桐松川堤防沿い】ソメイヨシノ

清流と桜並木・鉄橋遠くには残雪の山々が見られる4描写そろった絶景の場所です。写真、絵画家にも愛される絶景ポイントでもあります。



## 【御射山神社】枝垂れ桜

片切氏創建の神社にある樹齢400～500年位の見事な古木です。樹木匠による手入れも施され保護されています。桜越しに見る狛犬が凛々しく見えます。



天竜川

## 高台から桜越しに見る景色は格別です

## 【三柱 神社】枝垂れ桜

社殿の左右にスラリと伸びる幹から糸をひくように枝が垂れ下がり可憐な桜です。



## 【柄山神社】

エドヒガン枝垂れ桜

空から桜が降ってくるような見事な枝垂れ桜です。神社裏側の高台の枝垂れ桜も美しい樹形で見ごたえがあります。



## 【円満坊】

エドヒガン桜・ヤマザクラ

絶景に美しく咲き誇る桜と、整備で現れた山桜とテラスから見る絶景も楽しみなところですよ。



## 【部奈さとやま自然園】

杉野屋のエドヒガン枝垂れ桜

残雪の中央アルプス空木岳を背に美しく咲き誇る姿は格別です。又蔵とのコントラストも見事です。自然園には春から夏にかけて様々な花が咲き誇ります。



この他にも町内には沢山の桜の木があります、自身のお気に入りの桜を見つけてはいかがでしょうか！





松川北小学校

## 大きな雪だるま

雪だるま

コロコロ ころがして

大きな雪だま

二つ作って かさねたら

大きな大きな

雪だるま

とけずに

ずっとずっと

このままがいいな

かぞくみんなで

つくったよ

牛久保 晴花

## カレー

お肉、たまねぎ、

にんじん、ピーマン

にこんだカレー

おいしそう

おなべで ぐつぐつ

おいしくなあれ

わたしのカレー

だのしみだな

圓口 柚希



## キックベース

とおくまで

とぶと楽しい

「ぜったい

けつてやるぞ」

足をおおきく

ふりあげる

ポーン

とおくにとんだら

きもちいい

長谷部 優心



## 松川町今昔

資料館だより

◆第54回◆

「伊那電松川町通過の歴史」

(その3)

大正7年(1918)4月15

日、下伊那北部地区の思いを伝えるために、上京委員として大原慶一(神稲村)・今村録七郎(座光寺村)・片桐政弥の3人が東京へ出かけ、伊那電会社に行つて社長の池上伸三郎に会見しました。すると池上社長は、18日にいろいろな用件があつて飯田へ行く予定だということでした。

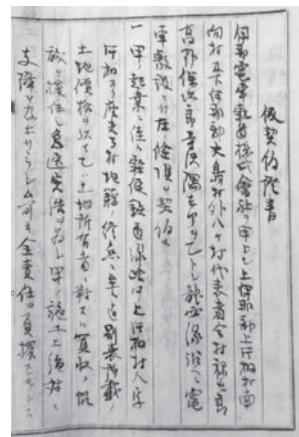
3人から連絡を受けた委員は、20日に協議をするにことにして、神稲村橋本楼へ集まることにしました。そして4月22日飯田へ来ていた池上社長と会い陳情しました。この時出席したのは、下伊那北部の大島村・河野村・神稲村・山吹村・市田村・座光寺村の七

人と、上伊那郡南部の南向村・上片桐村の2人でした。

池上社長から上線(伊那街道沿い)と竜西線(天竜川沿い)を比べると、竜西線は距離も長く、用地の買収代が多くなるということが話されました。

それについて北部の人たちは、用地について地主の人たちから苦情がないように便宜をはかることや、会社の考えている見込額により契約していくと述べています。

4月29日に河野村へ集まつて、用地買収について会社の評価額と現地地主の言う額の差をどうするか相談しました。そして村々で負担する額を決めていきました。5月に入つても相談し、それから飯田町の伊原五郎兵衛宅へ、今村録七郎・橋都多賀司(市田村)・矢沢豊之助(大島村)が出かけ面談しました。池上社長から示された標準額よりやや高く買い上げてほしいと話しました。その高くなった金額は、有志者によつて増し買い上げをする会社へ出すと伝えました。伊原五郎兵衛から、それは会社の評価額より少なくしたいという目的があ



るのではないかと追及されました。そうではないと伝えました。5月8日山吹村へ委員が集り相談して、さらに12日に伊原五郎兵衛の所へ出かけることにしました。5月14日に河野村に集まり、伊那電を竜西へ敷設する交渉のためのお金について決めました。そしてついに5月19日に伊那電の池上社長・伊原取締役と下伊那郡北部村々の代表山吹村寺沢隅太郎・高野保次郎・座光寺村今村録七郎の間で仮契約が結ばれました。その契約の中で七項目が挙げられています。停車場は、大島・山吹・市田・座光寺とし、会社へ寄付する。位置は会社任せ、施工前に所有権移転を登記しておくこと。上片桐から座光寺迄決めた価格で買収することなどが決められています。(続く)

松川町資料館

伊坪 達郎



# 令和2年度 公民館功労者表彰



小林 鉄也 さん  
中央公民館



大島 崇 さん  
中央公民館



小沢 誠 さん  
中央公民館

中央公民館・各地  
区公民館の活動にご  
尽力された11人が表  
彰されました。



今村 哲也 さん  
名子地区公民館



米山 裕樹 さん  
上新井地区公民館



栗畑 孝弘 さん  
上新井地区公民館



寺沢 成幸 さん  
古町地区公民館



西村 崇 さん  
上大島地区公民館



矢沢 峻 さん  
上大島地区公民館



宮下 雅和 さん  
上大島地区公民館



中平 勇 さん  
名子地区公民館

この度公民館活動に対する表彰状をいただきました。しかし、自分自身表彰していただくに値することができたかと恐縮するばかりです。

私は新しく完成した中央公民館「えみりあ」の館長として、4年間勤めさせていただきました。

歴史と伝統のある松川町の公民館活動の中で、自分自身何をすればよいか思い悩みましたが、自分が大事にしたいなあと考えたことを大切にしてきました。その中で地域の中にはさまざまな公民館活動があり、それを通して人と人が繋がり、地域を盛り上げている姿を見て、一緒に活動することの大切さを学びました。

また松川町の貴重な自然ツツザキヤマジノギクやアカモズを保護する活動、耳が不自由な方や外国から来られている方とコミュニケーションする方法を学ぶ活動も印象に残っています。

今は大変な状況ですが公民館活動で経験させていたいただいたことを大事にし、私の公民館活動をしていきたいと思えます。大変お世話になりました。

大変お世話に  
なりました

小沢 誠





## 春のセンバツ出場

東海大付属甲府高校 福與大地さん（古町）



『松川町出身の子がセンバツに出場するらしい！』

情報を聞きつけた編集部

は、その日に山梨県に飛びました。甲府市の住宅街にたらずむ学校に到着すると、グラウンドで黙々とバットを振る福

與さんがいました。

福與さんは松川中在学時から飯田リトルシニアで練習を重ね、中学卒業の際には、県内外の強豪校からお誘いがあつたそうです。数ある候補の中から、練習の雰囲気を見て「甲子園に行くならここだ！」と感じ、東海大甲府を選んだそうです。

熾烈なレギュラー争いを勝ち抜き、センバツ大会ではライトのポジションで出場予定です。とはいえ、選手層の厚



い強豪校。確定などは無いため、まだまだ気を抜けないとおっしゃっていました。

またスポーツだけでなく勉強も優秀で、テストは入学から常に上位をキープしているそうです。

この館報が皆さんのお手元に届く頃は、1回戦が終わった位かと思いますが、是非とも勝ち進んでいて欲しいですね。松川町の皆で、福與さんを応援しましょう！

す  
ぽと

## 館報まっかわ銀賞

全国公民館報コンクール

全国公民館連合会が主催する第8回全国公民館報コンクールにおいて、本誌が「銀賞」（上から2番目）を受賞しました！

企画の切り口や表現力、記事の工夫、読みやすさなどから審査され、今年は全国148点の応募の中から選ばれました。

本誌は2年ごと行われるこのコンクールにおいて、平成24年度から5回連続で入賞し



です。

今年度はコロナウイルスの影響で行事の中止が相次ぐ中も、編集部員一同力を合わせて紙面づくりに取り組んできました。

これからも町の魅力や出来事を多くの方に届けるのほもちろん、面白く親しみを持つてもらえる館報づくりに努める所存です。

次は2年後！

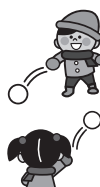
最上位賞である金賞を目指します！

令和2年度  
中央公民館 編集部一同

みんな  
仲良く

松川中央小学校

季節の俳句 冬



ふきのとう ゆきの下でね じゅんびちゅう

中平 花音

こたつから 外のけしきを ながめてる

松下 怜雅

先生に 雪玉なげて にげるほく

川久保 優輝

星空は 雪まつ空の 鏡かな

宮澤 はる香

雪が降り 白い服着る 山の木々

小澤 巧

俳句

春の河

鋤柄郁夫（宮坂）

山寺や すだれのごとき 春の雪

蝶生れて 小さきドラマ 始まりぬ

花紙を 解かれて 眩し 官女雛

轉りや 空の 青さも 散りばめて

渦巻きて また 解けて ゆく 春の河







初めて中止となつてしまつた町の文化祭。町内で日頃から様々な創作活動に取り組み発表の場を持つていた多くの方々にはとても残念な事でした。コロナ禍で地域の人々の間で様々な中傷、差別的行動が見られることは悲しい事です。コロナは住民同士の不信感等を生んでしまい、決して高くない「民度」が露呈してしまいました。

住民の「民度」を上げるのに、文化活動はとても大切な役割を果たすと思います。出来なかつた文化祭に代えて、1月31日～2月28日に開いた文化協会展ですが、次年度こそはコロナ禍を乗り越えた本当の町民文化祭が開かれる事を祈念したいと思います。

文化協会副会長

松下 善信



## フォトクラブ 光彩

写真というくくりの中には、記念写真、報道写真等、分野はいくつかに分けることができますが、私たちのクラブは「表現としての写真」を中心に位置付けています。

撮影は個々で行うのが主体で作品に最も個性が表れることとなります。撮影会は年に数回行うことにしています。が、親睦や情報交換の場となり、発表の場としては例年、秋に行われる文化展に積極的に参加してきました。



えみりあで開かれた文化協会展の1コマ

活動の中心は、月一回の例会で、この時には各々数枚の作品を提出して、お互いに鑑賞と批評を行います。新鮮な刺激を与え合うことも多く、この時が最も楽しく盛り上がり、且つ学び合える場となります。写真は趣味であり、従って楽しくなければ、というのが第一のコンセプトですが、コロナ禍が一日も早く収束して、従来の様に幅広い活動スタイルを取り戻せるようになるのを願う日々です。写真を趣味として楽しみたい方の入会を歓迎します。

大澤 重彦

## 花と生きる

花との付き合いは長く遙か昔小学校の頃、クラスで2、3人の女子が花を教室に飾っていました。今どきの派手な花ではなかつたが教室の隅を明るくしていたと思います。春、田んぼ一面をピンクに染めていたレンゲ草、畑にはブルーに輝くオオイヌノフグリ、家の周りには福寿草、沈丁花、スイセン・・・桜が咲く。移りゆく季節に咲く花は心を癒し、その色彩は心にやさついています。

“個人の庭からきれいな町へ”そんな想いから花好きな仲間が集まり「まつかわオーブンガーデンの会」が発足して10年が過ぎます。草花の育て方から寄せ植えの実習、ハングングの作り方、さし芽やさし木の仕方など会員同士で情報交換しながら居心地のいい空間づくりを楽しんでいます。コロナ禍に於いても文化の交流を持ち、そのひと時に花をそえられたら嬉しい。

まつかわ

オーブン

ガーデンの会  
市原すみ子

## 2022年

今年の公民館研究集会は中止となりましたが、2013年の研究集会50回記念までの3か年で「公民館とは何か？」という何を何度も考えました。公民館というと地区公民館や分館など、よくわからないけど役員が回つてくるもの、という感じがします。しかし公民館は、住民が何かの目的のために活動すれば、それが公民館だという話がありました。営利目的等でないければ、あらゆること、生活の中の困りごとや社会問題の解決、スポーツや文化など豊かな生活を送るための活動など、多岐にわたります。

組織としての公民館活動はもちろん、同じ目的を持った者同士が集まって活動すれば、それはもはや公民館活動だというわけです。

コロナ禍の今の時代にはどんな「公民館」ができるでしょうか？

光澤 正之

公民館報

「まつかわ」

第688号

令和3年3月15日

発行所 松川町公民館

責任者 山崎 隆

編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷株式会社

再生紙を使用しています。